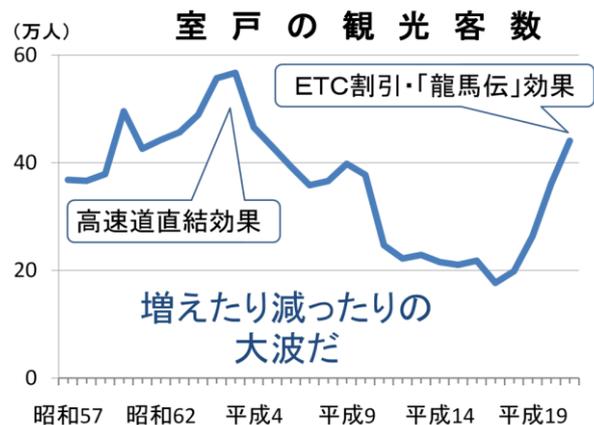


【まるごと室戸を味わおう！】(郷土研究)

私たち郷土研究・深層水研究受講生は、室戸を元気にするアイデアについて考えました。

まず、このグラフを見てください。これは、昭和57年から室戸市観光客数を表したものです。

どうですか、不安定ですね。たくさんの観光客に安定して来てもらうためには、リピーターをいかに呼び込むかが大事だと考えました。ここから、生涯繰り返し、室戸を訪れてもらうための「まるごと室戸を味わおう」プランの始まりです。



室戸de修学旅行

古い町並みとして評価の高い吉良川ですが、どこかさびしい感じがします。この町並みを子ども達で一杯にしたいと思います。そのために、民泊で修学旅行生を受け入れてはどうでしょうか。そうすれば、子ども達にじっくりと室戸を知ってもらうきっかけになります。室戸の青い海と青い空に包まれば、きっとこんな声が聞こえてくるのではないのでしょうか。

「吉良川の家は、室戸ならではの知恵が生かされていたね。歴史を感じさせる家で、風通しが良くて涼しかった」「ここで食べた魚は、いつも食べている魚より新鮮でおいしかったね」「深層水のお風呂に入ったら、肌がつるつるになったよ」

また、自然がいっぱいの室戸で、イルカやいろんな魚と出会い、美しい海を体験し、楽しんでもらいたいと思います。

そして室戸の雄大な自然に包まれて過ごしたことで、子ども達の心に印象が深く刻み込まれました。それから、時がたち…思い出の土地を訪れるカップルの姿がありました。

恋人の聖地・室戸岬でプロポーズ大作戦！

ここは、恋人の聖地、室戸岬。次から次へとカップルが訪れて、プロポーズの言葉が飛び交っています。恋人岬で結ばれた二人は、将来、思い出の場所を家族旅行で訪れることになるでしょう。



家族で楽習♪室戸ジオパーク

家族旅行はもちろん、室戸ジオパークです。ジオパークとは、地質遺産とともに文化遺産や生態系の多様性などを楽しむ場所です。

行当岬（ぎょうどみさき）の近くでは実際に化石を探することができます。宝探し感覚で、化石を実際に見つけることは、未知との出会いを体験することになります。鯨館で、発見者の名前を記録してくれるので、いい思い出になり、家族で訪れるのには、とっても面白いところです。

空海が修行したと言われる、御厨人窟（みくろど）は、波によって削られてできた天然の洞窟で、地球のダイナミックな動きがわかる場所です。



室戸高校では、ジオパークの観光ガイドを育てるための講座の準備を進めています。

さらに室戸といえば、お遍路です。遍路とは、「札所をひたすら巡り歩く」ことです。お遍路さんにくつろいでいただけるようなお接待のアイデアを考えました。

夏の暑いときはミストシャワーで涼しくなります。冬は深層水の足湯で温まります。このように、室戸では6610mごとに

休憩ポイントを用意して、お遍路さんが歩くのに良い環境を作ります。

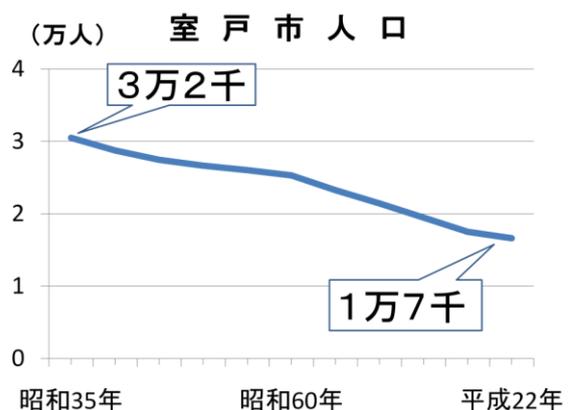
民泊、恋人岬、家族旅行で訪れた夫婦が、子ども達の自立と定年退職など、ライフサイクルの大きな節目を迎えた時に、きっとお遍路旅に訪れることでしょう。

遍路旅の途中でたくさんの人情に触れ、室戸が好きになり、親子で室戸に移住して炭焼き技術を伝えた植野蔵次さんのように、何度も室戸を訪れることで、室戸を好きになり移住してくれるような人も増えて欲しいです。

そういった人を増やすためにはどうすればいいでしょうか。

室戸の人口の推移を見てください。年々減少し、現在は1万7000人を切っています。この減少の背景を考えるために、産業別人口の推移も見てみましょう。

特に、第1次産業人口の減少が激しいです。また、第2次産業人口の低迷も目立ちます。観光客の数を増やすだけでは、室戸の活性化には不十分だと考えます。産業を育て、雇用を増大することで、Iターンによる定着人口が増え、室戸市に活気が出るのではないでし



ようか。

そこで、私たちは、新たな室戸の特産品として期待されているスジアオノリの養殖に注目しました。深層水は、栄養塩類が豊富で、スジアオノリの陸上養殖に適しています。

さらに、スジアオノリの養殖過程での排水には酸素がたくさん供給され、それをトコブシなどの養殖にも活用できると期待されています。室戸海洋深層水を利用したスジアオノリの養殖からはじまるビジネスチャンス！ このように室戸の海の恵みは大きな可能性を秘めています。スジアオノリの養殖による一次産業の発展にとどまらず、新商品開発やマーケティングによる市場開拓へと夢は広がっていきます。

このプランで、室戸を好きになってもらい、さらにIターンによる人口増加の可能性を示しました。そのためには、まずは地域が1つになること、そして、室戸を愛する気持ちを持つこと、住みやすい街にするためにアイデアを出すことが大切だと思います。

これからも、室戸のいいところを発信していきたいです。

